

藤島小「カリキュラム・デザイン」の基盤【本校の教育目標と、資質・能力の三つの柱との関係】 2023.4.18Ver.1

学校教育活動全体において 教科横断的な視点に立って育成する資質・能力		本校の教育目標 「自分の思いを語り、共に高まり合う子どもの育成」							
		＜学習の基盤となる資質・能力＞			本校で特に育成 したい資質能力	知	徳	体	
めざす 子ども像 資質・能力 三つの柱	言語能力	情報活用能力	問題発見・ 解決能力	伝え合う力	よく考える 子ども	思いやりの ある子ども	たくましい子ども ＜健康体力＞ ＜意志＞		
	知識及び 技能	言語の働きや 役割を理解す る 言葉の使分け ができる	情報を活用す るために必要 な知識と技能 を身につける	各教科で身に つけた問題発 見・解決の技 能を生かす	言語能力の知 識・技能を生 かして、話し 合う（聞く・ かく・話す）	基礎的な知 識・技能を 身につけ活 用する ＜構造化する＞	道徳的諸価 値を理解す る	健康・体力・ 安全について 理解し実践す る	目標実現のた めの方法を知 る
	思考力、 判断力、 表現力	言葉にする力 伝え合う力 考えを形成す る力を身につ ける	情報を結びつ け意味を見出 す 情報を効果的 に活用する	各教科で身に つけた力を統 合的に活用す る	★教科の見 方・考え方を 生かして、論 理的に思考し 表現し合う	対話を通し て自分の学 びを深める ＜活用する＞	物事を多面 的・多角的 にとらえて 判断し行動 する	健康・体力の 自己の課題を 見つけ、解決 する	目標実現のた めに主体的に 考え判断する
	学びに 向かう力、 人間性	見方・考え方 を広げ深める 他者を尊重す る	情報社会に主 体的に参画し 社会発展に寄 与する	問題解決の過 程で粘り強く 取り組む 解決方法を調 整する	対話を通し て見方・考え を広げ深める 他者を尊重 する	自己の学び に粘り強く 調整しなが ら取り組む ＜汎用的能力に＞	自己を見つ め生き方につ いての考えを 深める 異なる考え を受容する	健康・体力を 向上し、明る く前向きに生 活する	目標実現のた めに主体的に 粘り強く行動 する

★「伝え合う力」は、生活科・総合的な学習の時間等の領域・学校行事・日常活動等と、各教科で培う資質・能力の活用関係を明確にし、カリキュラム・マネジメントにより教科横断的に育成する。